

## A②



つくった人：Aグループ

かおる  
ジュギョン  
ひより  
ひろき  
みゆき

## ぶたいしょうかい

- どこのに？  
日本
- いつの時代？  
いま
- どんなところ？  
川があってあめがあいっばいふってくるところ。
- キーアイテムは【川のみずをくんでくるもの】として使います。

## キャラクター紹介

【主人公】

- なまえ      もじゃすけじいさん
- ねんれい    90才
- どんな人？    かみのけがもじゃもじゃ



【役どころ：こども】

- なまえ      ひろき
- ねんれい    5才
- どんな人？    元気な男の子



**【役どころ：母】**

●なまえ れみちゃん

●ねんれい 25さい



●どんな人？ やさしいお母さんで元気いっぱい。

①



あるところに、もじゃすけじいさんと母のれみと、男の子のひろきがいました。

おじいさんはまいにち川の水くみにいきました。おじいさんのぐあいわるいので ひろきも水くみについていきました。なぜ水くみにいくかという、いえに水がないので、まいにち水くみにいきました。

②



おじいさんはぐあいが悪いので、ひろきにもたせ、走って帰りました。

そしたら、ひろきは歩いては休み歩いては休みのくりかえしで先についたじいさんは「母さんや、のどがかわいた。」といったら、れみは「仕方ない。くんできた水でも飲んでなさい。」と言った直後に水がとどきました・・・が・・・。

③



その上からどくの葉がたくさんおちて来ました。  
そのけっかバケツの中に葉がはいりました。  
もじゃすけじいさんは、さらに、のどがかわきました。  
なぜか、ねぼけてのんでしまいました。  
「うっーの、のんでしまった」急にたおれました。

④



町の人達がみんなあつまって「どうしたんですか?」と言っ  
たら「毒の水を飲んでたおれちゃんなんだ!」と言ってもう  
死んじゃったので、そうしきのかんおけにきれいな水を入れ  
てやっていたら、じいさんはいきなりよみがえりましたが、  
かんおけは土の中でした。  
そこで、ガバツと音がしたので、人がほりかえしたら、おじ  
いさんが生きていました。  
「わしに水をくれ~」と言いました。  
めでたしめでたし。